



## 友達と一緒に体を動かす楽しさ

主任 今村 久美子

ようやく朝夕にさわやかな風が吹き、秋の訪れを感じます。新しい園舎に引っ越して1カ月。子どもも大人も新しい環境に徐々に慣れ、園内の様々な場所で遊び笑い合う姿がたくさん見られるようになってきました。運動会に向けての取り組みも始まり、オープンスペースの保育室や広い廊下、ホール、戸外のウッドデッキ、そして定期的にお借りしている小学校の体育館にて、体を動かして遊ぶ機会をたくさん作っています。最近の子どもたちの姿を見ていると、友達と一緒にだからこそ生まれる体を動かして遊ぶ楽しさがたくさんあることに気付かされます。

3歳児は、広い廊下に設定した“かけっこコース”を走り回ることが大好きです。一緒に走る友だちとキャッキョと歓声をあげて楽しそうにずっと走っています。そこにはグルグルと走る勢いの渦が見えるようです。4歳児が、ウッドデッキで玉入れ用の紅白玉を的に向かって投げて遊んでいます。一人、二人が投げ始めると、それを目にした子どもたちが寄ってきてどんどん仲間が増え、みんなで玉を投げながら「入った!」「あっちに行っちゃった」と大騒ぎです。投げられた玉が空中を行き交い、活気が満ち溢れます。このような“勢い”“活気”は、複数人の子どもたちが同じような動きをする中で生まれます。そこに引き込まれることで思わず自分も動きたくなったり、気分も高揚して動く楽しさを感じたりするようです。5歳児は、ホールや体育館で綱を引くゲームを繰り返し楽しんでいます。手や足に思い切り力を入れて綱を引っ張る真剣な表情。真剣勝負の中で、自分の陣地の方に引っ張る感覚、相手に引っ張り返される感覚、自分の力を出す感覚、仲間と力を合わせる感覚を、身体中で味わっています。このように思い切り力を出し、力と力でぶつかり合うことは、仲間や相手がいてこそできる経験です。

幼稚園は、たくさんの友達と過ごす場です。子どもたちが、友達と一緒に遊んだり活動に取り組んだりする中で、思わず自分も動きたくなり、友達と一緒に動く楽しさを知り、仲間と力を合わせたり思い切り力を出したりする経験を重ねていけるよう、適切な環境を作り援助を重ねています。今後も、新しい園環境を活かし、体を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わえるように工夫していきたいと思います。



みんなで走ると楽しい! (年少組)



玉を投げて「入った!」(年中組)



力を合わせて綱を引っ張り!  
(年長組)